

令和6年市長と語る！ふれあいミーティング

会場：南高麗地区行政センター

日時：令和6年4月16日（火）午後7時～

《会場での主なご意見等》

【ご意見①】

3月1日に清川橋が開通した。日常の利便性はもとより、地震等の災害時のリスク低減が大きく図れたと感じている。感謝している。また、清川橋から県道富岡入間線に向かう道路も、これから拡幅のための調査が入るということで、重ねて感謝申し上げる。

岩渕の自治会運営は、地区を1区から5区に分けて自治会の運営を行っており、岩渕には市営住宅があり、その中で市営住宅は一つの区として扱っている。

岩渕も高齢化が進んでおり、高齢者が一人、二人で住んでいる家が多く見受けられる。中でも、市営住宅の高齢化、人口減少が著しく、少し前の約半数の人口になっている。市営住宅を持って組織する区からも、自治会役員の選出にも苦慮するような状況が若干出始めている状況にある。

岩渕の市営住宅の中で一番新しい建物も既に30年以上経過しており、約40戸ある中の7戸が空いている現状である。このような岩渕地内であるが、農のある暮らし「飯能住まい」によって、若い人が移住し、私の家の周りでも、子どもたちの声が多く聞こえてくるようになった。このことは本当に明るい出来事である。自然豊かな南高麗、岩渕が飯能市の看板となる、農のある暮らし「飯能住まい」を進めていただいている地区であり、飯能市街地から2キロ、近くにスーパーもあるという利便性が良い地区にある市営住宅であるが、このような場所にある市営住宅の今後のビジョン、計画について、現在、市の方ではお持ちなのかどうか、お伺いしたい。

【回答】

お話しいただきました、農のある暮らし「飯能住まい」につきまして、お陰様で移住者と在来の方々が良好なコミュニケーションを取っていただき、また、地域を盛り上げていただきまして本当に有難く感じております。

確かに、現状を見ますと、市営住宅の建物も相当古くなっているものもあると思います。また、なかなか入居希望者が出てこない実態もあると思います。市営住宅の今後のビジョン、計画につきまして、今、具体的な計画を申し上げることはできませんが、あり方検討会にて庁内で研究はしております。

飯能市が管理している市営住宅の戸数は人口からすると多い状況です。その辺をどのように整理していくのか、これからの課題として捉えているところでございます。

一方で、災害などが起きた時に、対応できる、例えば、火災が起きた時に仮住まいとして使用するなど、いざという時に開けておく必要もございます。その辺も含めて、これから市営住宅のあり方を検討していければと考えております。

【ご意見②】

旧飯能南高等学校前の道について、道路の凹凸や阿岩橋側のクッションドラムで走りにくい。阿須ガード拡幅工事で交通量が増えているので対応してほしい。

また、朝の通勤時間帯に、川寺のセブンイレブンと飯能清掃センターの間の道について、スクールバスやごみ収集車の走行時間が重なり、渋滞になることがある。

スクールバスのコース変更はできないのか。

【回答】

旧飯能南高等学校前の道路の交通量が増加していることは把握しております。また、道路路面の状況についても承知しております。交通安全は第一優先ですから、走行性も考慮した形で、何か検討をさせていただき、埼玉県に申し入れをいたします。

クッションドラムにつきましては、交通安全のために設置されております。クッションドラムがないと内側に車が入ってきて、危険な状況が出てくると思います。県も承知していると思いますので今回、そのようなご意見があったことはお伝えいたします。ただ、クッションドラムを撤去することはできないと思います。位置を少し変えることは対応可能かと思いますが、どのようなことが対応可能なのか、ご意見をお伝えします。

バス路線の変更につきましては難しいと思います。しかし、状況につきましては、市で確認をさせていただきます。

【ご意見③】

道の駅構想の件について、大変夢のあるお話だが、進捗状況についてお伺いしたい。

【回答】

道の駅につきましては、私の思いは、地域の活性化、交通安全に資することが目的で、精明地区に設置をしたいという考えでございます。現在、道の駅の専門的なコンサルタントにお願いし、色々な角度から協議をしているところでございます。段階的に、何か発表できる段階になりましたら、広報いたします。

素晴らしい道の駅をつくりたいと思っておりますので、ご協力の程よろしくお願い致します。

【ご意見④】

自治会を通して通学路の修繕を要望させていただき、厳しい予算の中で、一部補修をしていただいた。とても感謝している。

先程の配付されたアンケートに10年後の理想について記載されているが、それに対する私の要望としては、地域の事情が色々あるが、人が多い、少ないとか、そういった中でも児童が最低限、安全に登校できるような環境を中長期で計画してやって欲しい。

【回答】

ありがとうございます。貴重なご意見として承ります。

【ご意見⑤】

前市長の時に菫台の子供を南高麗小学校に通わせるという話し合いがあったが市長選挙後になくなった。現在も検討されているのか。

また、申渚に住んでいる。避難場所が南高麗地区行政センターだが、避難人数に対して小さ過ぎる。南高麗小学校、南高麗中学校も避難所ではない。私たちは災害時に

どこに避難すればいいのかお伺いしたい。

【回答】

学校のお話ですが、確かにそういう話はございました。規模の適正化、通学区の関係ですとか、色々な角度から検討をいたしました、南高麗小学校PTAの方のご意向もございまして、令和3年度に検討を中止ということにさせていただきました。その後につきましては進展がございません。

申渚の避難場所の件ですが、指定避難所となっているのは南高麗地区行政センターとなります。そちらの方に避難していただきたくことでお願いしたいと思います。

確かに、危険区域を通して、避難所に行くことは困難なことだと思いますので、そういった時を想定して、日頃からご自身の中で、そこに行けない場合もございまして、こういったところが安全か予め確認していただき、そちらに避難することもこれも一つの方法だと思います。よろしくお願いいたします。

【ご意見⑥】

一昨年、下直竹で盛土問題が発生した時は、新井市長、市役所の担当部局、市議会議員の方にご尽力いただき、結果的には不許可ということで、地元に住んでいる者としては、非常に有難い結果となった。

しかし、県の担当者は、盛土問題について、森林法は規制法ではないので、法律に則った書類が提出されれば、許可せざるを得ないと言っていた。今後、法律に則った書類が提出されれば、許可を出さざるを得ないということを地元としては不安を持っている。飯能市は、農のある暮らし「飯能住まい」という素晴らしい政策で移住者も沢山地元に移住してきた。なかなか難しい問題だと思うが、森林の方も是非、地元と一緒に市も、農のある暮らし「飯能住まい」に匹敵するような、森林の活用法を何とか考えていただければ、盛土に頼らなくても森林の活用を何とかできるような方策ができれば、地元としても非常に有難く思う。

【回答】

本当にあの時は地域の方に一生懸命やっていただきました。

ただ、一点、個人の私有財産ですので制限は難しいところがあります。基準や法に基づいた手続が行われると県の方でも審査、許可、処分をしなければならないという決まりがあります。しかし、市としましても、限界まで対応していきたい考えますので、ご理解いただければと思います。

【ご意見⑦】

先ほどの市長の説明の中で、私は「学びの改革」に興味を引かれた。その話の中でタブレットを全児童・生徒に配付することになったが、それを使いこなすうえで各自治体間で差が出ていることも聞いたりすることがある。今日、私も含めて年齢層の高い出席者が多いと思うので、そのところを本日出席されている教育長や校長先生に、今、学校でタブレットを含めてどのような飯能らしい教育をされているのか、お聞かせいただきたい。

【回答】

第3期飯能市教育振興基本計画が令和3年度から始まりまして、今年で3年目にな

り、南高麗小学校、南高麗中学校でも頑張って取り組んでいただいております。

学び合いを中心に、子どもたち同士で学び合い、一人の漏れもなく、質の高い学びを保障するということを目指し、各校取り組んでいただいております。

ご質問いただきました、ＩＣＴの関係ですが、お陰様で飯能市は県内でいち早い導入をさせていただき、各学校で取り組んでおります。活用状況につきましては、県内でもベスト５に入る活用を各校で行っております。活用内容ですが、個における学びのツールというのは、タブレットがＬＴＥモデルで直ぐにインターネットに接続できますので、色々なものをその場で調べたり、友達からの情報を貰ったりということが出来ます。集団におけるコミュニケーションツールは、一例としてＫＪ法など同じ意見をまとめて、付箋に貼って行う会議があるかと思いますが、それをＩＣＴ上、タブレット上でできるのです。誰の付箋かは直ぐに分かります。これは色分けでやりますから。そういったことで、誰の意見がこうで、誰の意見がこれと集団で理解できて、集団も高められ、個も大事にできるというのが活用です。こうしたことを各教科で行っております。

また、各学校では、年１回、研究授業、授業公開を飯能市内全ての先生にやっていただいております。飯能市内に５００人弱教員がおりますので、毎日一人か二人は、どこかの学校で公開授業を行っているところです。南高麗小学校、中学校も開催しておりますので、是非、機会がございましたら授業を見に来ていただければと思います。